

【茶の動向】

1 生産

(1) 茶の栽培面積は、生産者の高齢化等により、零細茶園を中心に減少しており、平成26年産の全国の栽培面積は4万4,800haとなっている。うち管内の主産県の栽培面積は2万300haで、全国の主産県の45%を占めている。

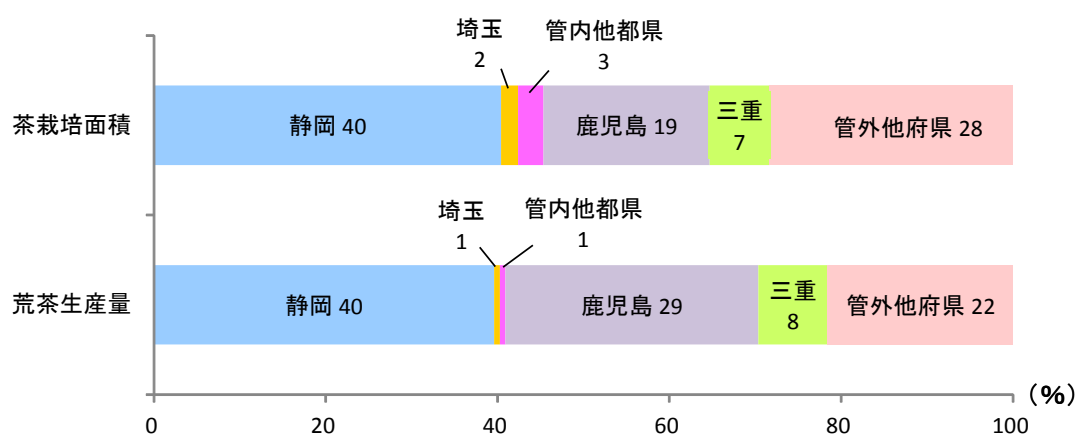
平成26年の全国の荒茶生産量は、8万3,600tで、前年より1,200t減少した。うち管内の荒茶生産量は3万4,200tで、全国の41%を占めている。

表1 茶栽培面積(平成26年産)

	栽培面積 (ha)	荒茶生産量 (t)
茨城県	376	272
栃木県	68	7
群馬県	46	X
埼玉県	899	560
千葉県	215	30
東京都	144	53
神奈川県	263	137
山梨県	125	36
長野県	82	22
静岡県	18,100	33,100
管内	20,300	34,200
全国シェア(%)	45.3	40.9
全国計	44,800	83,600

資料：農林水産省「作物統計」

図1 茶栽培面積と荒茶生産量の県別割合(平26)



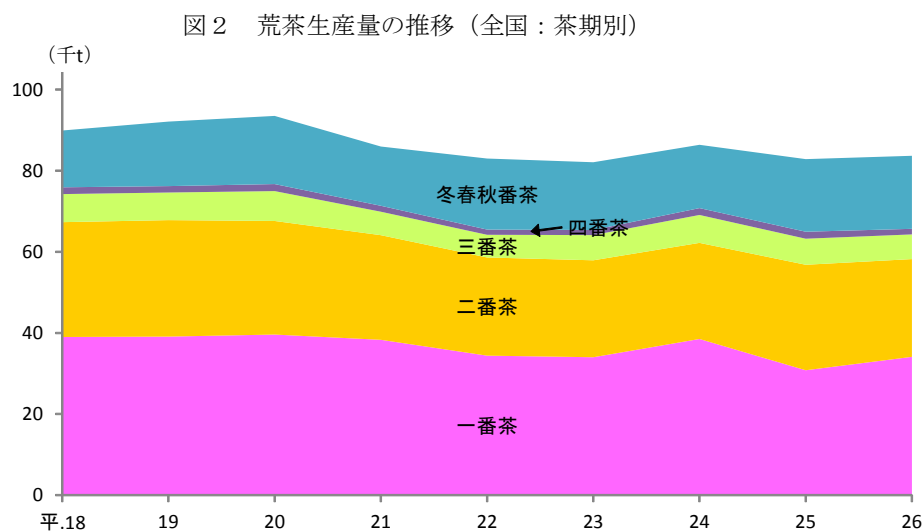
資料：農林水産省「作物統計」

(2) 茶期別でみると、一番茶が全生産量の4割を占めている。

表2 茶期別荒茶生産量(全国) (単位:t)

	一番茶	二番茶	三番茶	四番茶	冬春秋番茶
平. 18	39,000	28,300	6,920	1,670	14,000
19	39,100	28,700	6,810	1,580	15,900
20	39,600	28,000	7,360	1,730	16,800
21	38,300	25,800	5,780	1,460	14,600
22	34,400	24,200	5,590	1,290	17,500
23	34,000	23,900	6,210	1,260	16,700
24	38,500	23,700	6,880	1,690	15,600
25	30,800	26,000	6,420	1,720	17,900
26	34,100	24,100	6,080	1,380	18,000

資料：農林水産省「茶統計年報」「工芸作物統計」及び「作物統計」による
 注：平成21年、26年以外は主産県調査



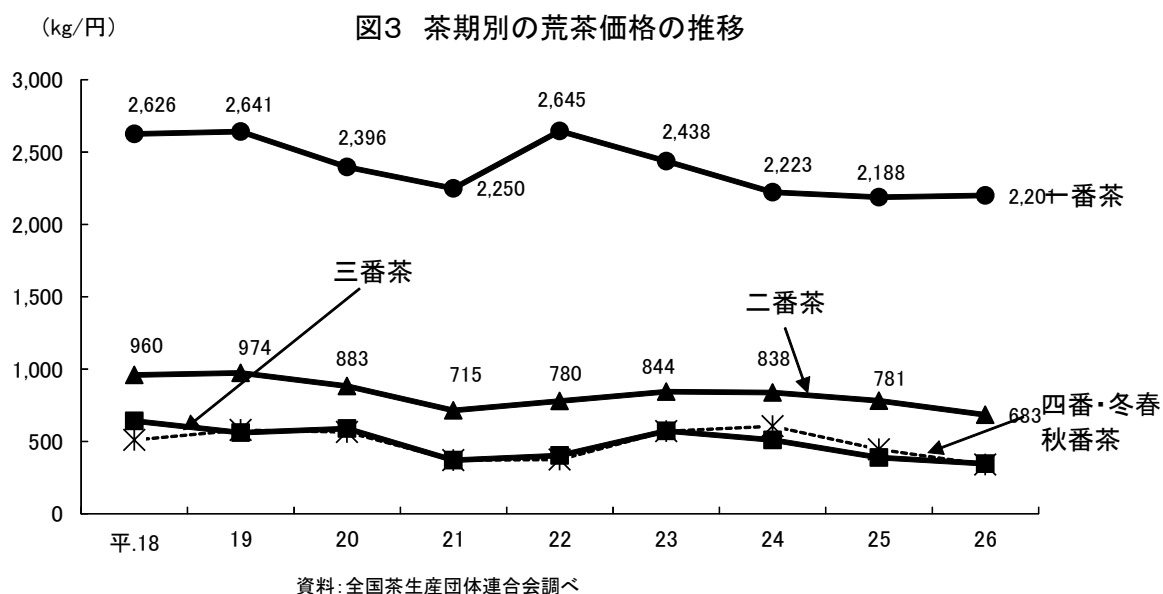
資料：農林水産省「作物統計」
 注：平成21年、26年は全国調査、それ以外の年は主産県調査

(3) 緑茶価格は、収穫年における収量、品質、摘採時期により変動しつつも、平成20年以降は下降傾向が見られる。

表3 緑茶(普通煎茶)平均価格(全国主産県) (単位:円/kg)

	一番茶	二番茶	三番茶	冬春秋番茶
平. 18	2,626	960	509	642
19	2,641	974	579	560
20	2,396	883	565	588
21	2,250	715	370	370
22	2,645	780	374	402
23	2,438	844	570	572
24	2,223	838	604	509
25	2,188	781	444	388
26	2,201	683	340	346

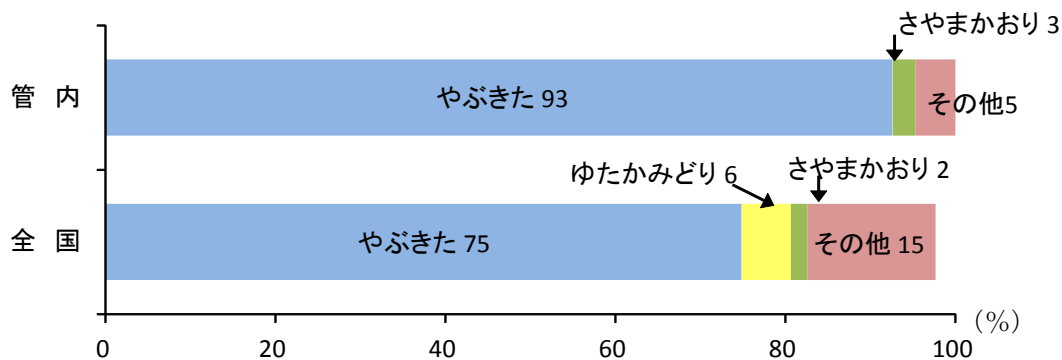
資料: 全国茶生産団体連合会調べ (H27茶関係資料)



(4) 平成25年の茶の産出額うち、生葉は全国で635億円、うち静岡県は241億円、埼玉県は12億円となっている。また、荒茶は全国で335億円、うち静岡県は132億円となっている。

(5) 緑茶の品種別の栽培面積割合をみると、全国では「やぶきた」が75%となっているが、管内では93%を占めており、その偏重から、摘採に係る労働力や工場の稼働が一時期に集中することが課題となっている。

図4 緑茶の品種別栽培面積の構成比（平.26）



資料：農林水産省地域作物課調べ

表4 緑茶の品種別栽培面積（平成26年産）

（単位：ha）

	やぶきた	ゆたかみどり	さやまかおり	おくひかり	かなやみどり	つゆひかり	おくみどり	やまかい	ふくみどり	さえみどり	在来種	その他	合計
茨城県	199		16	4	8	4	5	5	4	1	6	17	265
栃木県													
群馬県	7											18	25
埼玉県	596		198			2			69		16	21	899
千葉県													
東京都													
神奈川県	248		2			2	2			3	3	4	263
山梨県	123										1		123
長野県	71												72
静岡県	16,966	6	303	103	91	74	84	55		79	100	145	18,007
管内	18,209	6	518	107	99	80	91	57	57	83	126	205	19,654
全国	31,905	2,472	839	128	563	111	1,184	91	93	1,328	697	3,229	42,623

資料：農林水産省地域作物課調べ

注：単位数値未満を四捨五入しており、内訳の計と合計は一致しない場合がある。

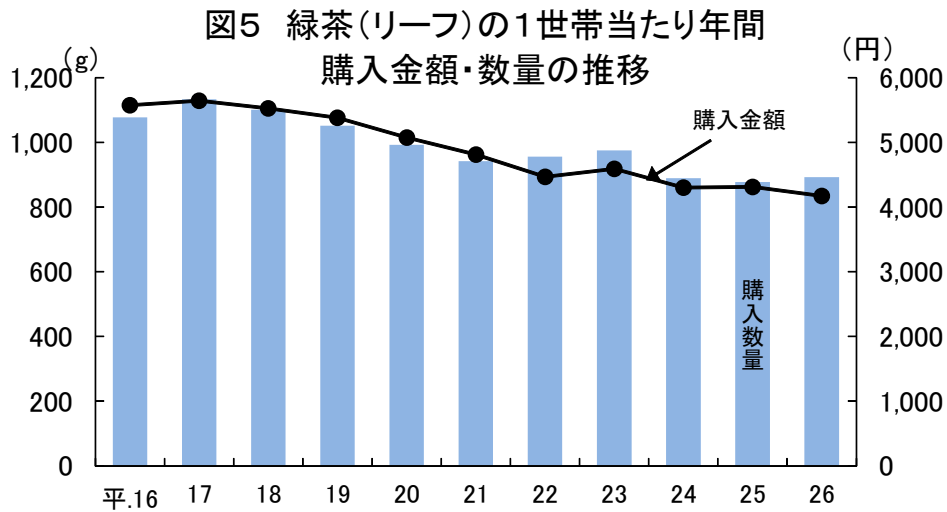
2 消費

(1) 緑茶の消費は、減少傾向で推移しており、平成25年の一世帯当たりの緑茶の購入量（全国）は892gで、H16年と比べ1,200円以上減少している。

表5 一世帯当たり緑茶購入量・購入金額の推移（全国）（単位：g、円）

	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26
購入量	1,133	1,101	1,051	992	942	956	975	889	877	892
購入金額	5,646	5,527	5,378	5,073	4,809	4,466	4,591	4,300	4,309	4,174

資料：総務省「家計調査年報」（一世帯あたり）



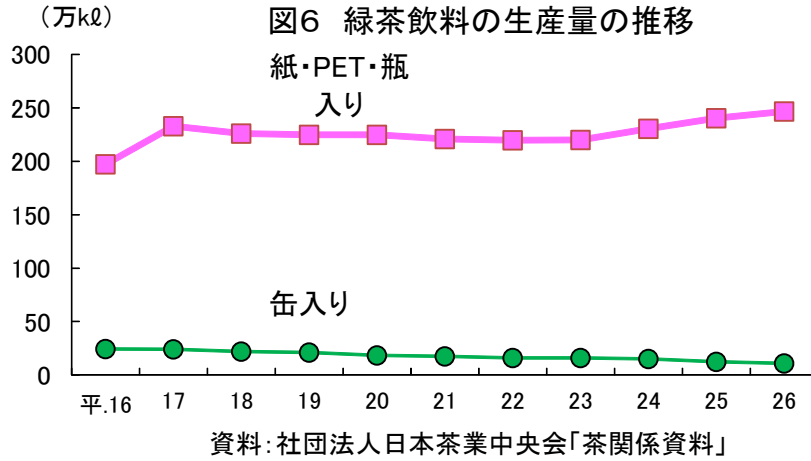
資料：総務省「家計調査年報」（農林漁家世帯を除く）

(2) 緑茶飲料（ペットボトル等）の生産量は、平成18年以降減少傾向となっていたが、ペットボトルを中心に生産量が再び増加傾向にある。

表6 年次別緑茶飲料の生産量

	缶入り		紙・PET・瓶入り		合計	
	万ケース	kℓ	万ケース	kℓ	万ケース	kℓ
平.18	3,110	220,300	20,724	2,260,800	23,834	2,481,100
19	2,980	211,090	20,760	2,246,620	23,740	2,457,710
20	2,589	183,390	20,651	2,247,810	23,240	2,431,200
21	2,497	174,600	20,127	2,208,300	22,624	2,382,900
22	2,294	160,400	19,995	2,196,100	22,289	2,356,500
23	2,277	159,210	19,987	2,201,120	22,264	2,360,330
24	2,150	150,290	20,920	2,304,400	23,070	2,454,690
25	1,760	123,240	22,000	2,405,100	23,760	2,528,330
26	1,580	109,680	22,666	2,466,690	24,240	2,576,370

資料：(社)日本茶業中央会「茶関係資料」



3 輸出入

緑茶の輸出は、海外における緑茶ブームを背景に、アメリカ、カナダ、ドイツ等向けを中心に増加しており、平成26年は輸出量3,516 t、輸出額78億円となっている。

一方、輸入は、平成20年以降、緑茶飲料用原料の国産割合が高まったことから減少傾向にある。

表7 緑茶の輸出先国別の輸出量、輸出額 (単位：t、百万円)

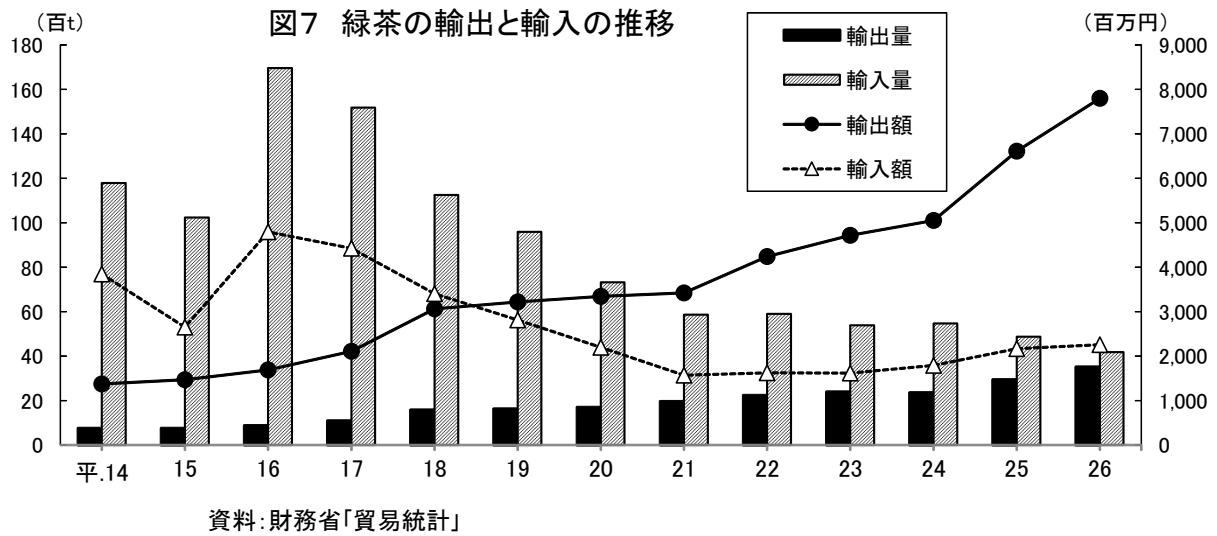
	アメリカ		カナダ		ドイツ		フランス		計(その他含む)	
	輸出量	輸出額	輸出量	輸出額	輸出量	輸出額	輸出量	輸出額	輸出量	輸出額
平. 20	776	1,321	162	265	124	255	59	223	1,701	3,344
21	1,063	1,626	149	239	82	211	56	198	1,958	3,422
22	1,136	1,963	172	283	100	396	78	293	2,232	4,242
23	1,228	2,251	198	337	123	503	63	207	2,387	4,716
24	1,127	2,339	144	267	104	448	40	105	2,351	5,053
25	1,444	3,130	189	318	155	814	56	153	2,942	6,610
26	1,550	3,416	200	349	246	1,043	61	170	3,516	7,799

資料：財務省「貿易統計」

表8 緑茶の輸入先国別の輸入量、輸入額 (単位：t、百万円)

	中国		ケニヤ		ベトナム		ブラジル		計(その他含む)	
	輸入量	輸入額	輸入量	輸入額	輸入量	輸入額	輸入量	輸入額	輸入量	輸入額
平. 20	6,864	1,838	114	40	101	25	65	44	7,326	2,201
21	5,240	1,292	119	40	67	24	31	21	5,865	1,572
22	5,287	1,324	160	52	69	22	19	9	5,906	1,626
23	4,745	1,215	193	57	83	29	39	25	5,393	1,619
24	4,739	1,350	69	24	253	40	78	55	5,473	1,792
25	4,172	1,596	0	3	265	34	39	24	4,875	2,167
26	3,471	1,652	5	8	271	39	58	47	4,180	2,261

資料：財務省「貿易統計」



〈用語解説〉

- 荒茶：茶葉（生葉）を蒸熱、揉み操作、乾燥等の加工処理を経て製造されたもので、荒茶生産量とはその加工品の重量をいう。
- 茶期区分別摘採（茶摘み）月日
 - 一番茶：3月11日～5月31日
 - 二番茶：6月1日～7月31日
 - 三番茶：8月1日～9月10日
 - 四番茶：9月11日～10月20日
 - 冬春秋番茶：10月21日～3月9日